

第1回教育環境整備協議会議事録（要旨）

1 日 時 平成19年9月22日（土）

午後7時30分～午後9時15分

2 場 所 北千里小学校 多目的教室

3 出席者 委員16名 別紙のとおり

吹田市教育委員会

理事 梅田 耕司

学校教育部教育企画人権室

室長 西川 俊孝

学校教育部

総括参事 小島 唯雄

学校教育部学校教育室指導課

課長 大田 正義

指導主事 森島 研次

学校教育部教育総務室教育総務課

主査 廣瀬 康彦

傍聴者26名

4 進 行（司会 西川室長） 別紙「次第」に基づく

（1）教育委員会挨拶 梅田理事

（2）教育委員会職員紹介

（3）協議会委員自己紹介

（4）教育環境整備協議会について 小島総括参事

趣旨、検討項目、進め方、スケジュール等

（5）座長・副座長の選出

（6）①地域を含めた児童の交流事業

②受入れ校等の改修工事

③児童の通学路の安全確保

④統合後の学校名

⑤その他

（7）次回協議会の日程

5 質疑応答

（4）教育環境整備協議会について

趣旨、検討項目、進め方、スケジュール等

事務局 次回以降は設置要領に半数以上の委員の出席で会議が成立するとしているので、何名かが欠席の場合でも会議を開催させていただきたい。また、委員が欠席の場合の代理については、代理は立てず委員のみで意見交換をお願いしたい。今後、関連する議題の関係で、関連部署の担当職員の出席要請をしたい。第2期学校規模適正化事業については、今後、教育委員会での議決を経て、本年12月の定例吹田市議会に学校条例の一部改正の議案を提案する予定。統廃合は、実施時期を含めて、12月下旬の市議会で採決の予定。現在、方針として平成20年4月の実施を掲げているが、これについても、これまでの議論や、本協議会におけ

る議論を通じて明らかにしたい。

(5) 座長・副座長の選出

座長・副座長については、設置要領に互選と規定。立候補あるいは推薦について、委員に問う。

委員から推薦あり、座長は古江台連合自治協議会の北村氏、副座長は青山台連合自治会の辻岡氏。

他に意見を問うが、意見なし。拍手をもって座長・副座長が決定。

事務局 資料として、「教育環境整備協議会設置要領」、「教育環境整備協議会の傍聴に関する事務取扱要領」、「A 北千里小学校・青山台小学校（表面）、B 北千里小学校・古江台小学校交流行事・交流事業（裏面）」を配布済み。関連する資料については、従前から教育委員会が作成している児童推計に開発想定を加味した最新の児童推計を現在作成中であり、順次提出したい。また、協議会における検討事項は、「その他」も含めて4項目、更に、「学校名」を挙げている。事業の実施にあたっては、児童が期待をもって新しい環境を受け入れることのできる条件を整えることが前提であると認識している。現在、協議会は10月の中・下旬までに3回、あるいは、議論の経過によっては4回目も開催させていただく可能性もあると考えているが、優先的に「児童の交流事業」、「統合後の学校名」についての意見交換を進めていただき、中間報告書を提出いただきたいと思います。12月の議会上程に向けて、児童が安心して統合の問題について受け入れられる環境を作る一定の道筋をつける中で、議案の提出をしたい。残りの課題については、年明けに引き続いて取り組むことを考えている。学校名については、先例として千里たけみ小学校においては、教育委員会から提案し、小・中学校の各家庭にアンケートを実施することを会議で決定した。結果は、「竹見台」「南竹見台」という名称が多かったが、委員の中から、どちらかが迎え入れる、あるいは、迎え入れられる関係というのは、子どもにとってはよくないのではないかという意見などにより、校名を決定した経緯がある。我々も、同じ視点をもって、今回の統廃合において、新たな学校名の議題を提案をしたい。

座長 以後、議事次第に沿って、事務局から説明等があればお願いしたい。

(6) ①地域を含めた児童の交流事業について

座長 児童の交流事業について、事務局から説明があればお願いしたい。

事務局 学校間で取り組んでいる経過は配布資料に記載している。また、地域でどのような取り組みをしているのか、今後どのような取り組みをする必要があるのかの議論をお願いしたい。

座長 現状はどうなっているのかを聞かせてもらいたい。

事務局 それぞれの学校に確認をして、昨年および今年度の交流事業について、配布資

料にその内容を記載している。今年度については、未定の部分がたくさんある。それについては、北千里、青山台、古江台小学校の3校合同部会で話を進めたいと聞いている。中学校との連携については、吹田市としては、今、全中学校ブロックで小中一貫教育の中で子どもたちを育てていきたいと考えている。それぞれのブロックの中で、子どもたちの状況を把握したり、小中、小小で連携を取りながら、子どもたちの健全なる育成のために目標をもってやっというところになっている。古江台、青山台中学校それぞれのブロックで、子どもの状況に合わせた目標を設定して、それぞれのブロックで連携を進めているところである。

座長 P T Aから交流事業について、聞かせていただきたい。

A 委員 北千里小学校P T Aでは、交流事業だけではなく、要望一般について、アンケートのようなものを実施し、この協議会のためにも、学校問題対策部を立ち上げて、この協議会に臨んでいこうとしている。交流事業は、地域での交流事業、小学校での交流事業の双方が実現できるのではないかと考えている。まず、地域に関する交流事業は、何か新しい交流事業をというよりも、現在いろいろとさせていただいており、そういったものを小学校、地域の方々にも協力いただいて、参加率を高めて行くことで、内容の充実を図っていけないかという意見がまとまっている。一方、学校単位での交流事業は、授業のコマ数などの問題があると思うが、むしろ、こちらの方に力を入れていただきたいという意見、要望が出ている。校長をはじめ、学校関係者の方々にはよくしていただいているが、どうしても、児童が受身というか、音楽会でも、一緒の場所にいただけという印象も否めないで、もう少し工夫をしてもらえればありがたいという意見が出ている。これは学校関係者だけでは難しい部分もあるので、教育委員会に頑張ってもらいたい。むしろ、教育委員会の姿勢を聞きたいという意見が挙がっている。学校主体の交流事業をいかに実現していくのか、例えば、2校の合同児童会のような、自ら参加していけるような交流事業をやらせてもらえるとありがたい。もちろんP T Aも協力するのでお願いしたい。

B 委員 青山台小学校としては、交流事業については、北千里小学校P T Aの方が言われたように、実りのあるもの、これから具体化していく中で、友達が増えるような形にしてもらえればありがたい。

C 委員 交流事業については、学校は大変な状況である。今以上にお願いするのは余程検討しなければ難しいと思う。青山台地域としては、交流については十分にされていると思う。むしろ、交流は、P T Aとしての交流を行ってはどうかという提案をしたい。統廃合にあたり、子どもたちは割と適応能力がある。P T A同士で話をして、その中で地域が音頭を取って何かを考えていただければと思う。その方が大切だと考えている。

D 委員 古江台小学校P T Aでは、今は地域の行事はたくさんあり、これ以上増やすことはないのではないか、今の事業の参加率を高めていけばいいのではないかと

う意見があった。学校の行事については、子どもたちが触れ合う場所があった方がいいのではないかという意見があった。

座長 学校の方はどうか。

E 委員 いろんな意見を出してもらえれば、学校も参考にしたい。学校間の交流は、どの学校でもそうだが、子どもの交流はなかなかできない部分がある。この3校の状況を見ると、子ども同士がもっと触れ合うことは、大いにしていかなければならないと思っている。ただし、学校同士の合同授業というのは進みにくい。しかし、例えば、ドッジボール大会などであれば、子ども同士のふれあいになる気がしている。今までは、青山台小学校とは音楽や劇を一つの体育館で観ている。また、古江台小学校でも、音楽会の練習に参加しているようだが、どの程度の交流ができているか。例えば、1時間の交流をしようとする、必ずその前後の1時間ぐらゐを移動の時間にあてる必要がある。そうすると、綿密な計画を先生たちにたててもらふ必要がある。他校の児童と一緒に何かをしようとする、前後に倍以上の力が掛かる。他の授業時数の関係もあり、しょっちゅうはできないという状況にある。19年度は、運動会が終わった頃に、3校の先生方が集まり、学校間の交流のことを話し合ってもらふことを思っている。内容は決定していないが、昨年から今までしてきたことプラス、それ以上のことを考えていかなければならないと思っている。

F 委員 昨年の交流について報告したい。3年生の音楽会の交流があり、北千里小学校の3年生が来たときに、両校の子どもたちが一緒に歌ったり、一緒にゲームをして過ごした。1年生の図工展の交流では、幼稚園で一緒だった友だちもたくさんおり、後で感想を言い合ったようである。

座長 中学校のPTAから何かないか。

G 委員 今、青山台中学校では、2つの小学校というよりも、中学校と小学校の連携を意識している。今年度は、「青中へ行こう」をお金をあまり使わずに回数を増やして、なるべく小学生に青山台中学校に来てもらう。また、地域の方も当然来てもらいたい。そういうことをしながら、交流を深めていこうとしている。

座長 今、出されたのは、授業の交流は難しいであろうということ。従って、地域行事で交流をする、PTAで交流する、いろんな行事で子ども同士のふれあいを行うという皆さんの意見であったと思うが、事務局で何か気付いたことはあるか。

事務局 資料のとおり、18年度の実績、19年度の前定で、交流事業、交流行事がだんだん進化していると認識している。児童の不安感を取り除き、みんなが地域の仲間だというのが、この交流事業、交流行事の目的であると我々も認識している。3校の合同部会が10月に実施され、今PTAから話をされた点も含めて論議されると思うので、我々も支援する体制を作っていきたい。

座長 交流事業については、次回に今日の意見を踏まえて何かあれば出していただきたい。

(6) ②受入れ校等の改修工事について

座長 受入れ校等の改修工事であるが、これが財政問題やその他のことで一番難しい問題ではないかと思っている。事務局から説明してほしい。

事務局 改修工事については、平成19年度に耐震診断を古江台、青山台の各小学校で実施する。それを受けて、補強工事の設計を来年度に行う。補強設計に基づく工事を再来年、その先ということで想定している。その後、改修工事を重ねていくことになるので、結果的に、直ちに今改修の案を固める時期ではないため、当面の話し合いの必要はなく、第2段階に延ばしてもよいと考えている。当面は、先に議論してほしい内容からお願いしたいと考えている。

事務局 改修工事においては、最低限の教室等の改修ということで、18年度に実施した部分があるが、児童数が増えて、授業に差し障りの出そうなところについては、優先して取り組む必要も出てくると思う。大規模改修として行う外壁塗装や廊下の改修なども今後は出てくると思うが、いろいろな要望等も聞きながら取り組んでいきたい。

座長 それぞれ学校ごとの要望を出してもらいたい。

B 委員 青山台小学校PTAとしては、一番期待しているのが、この改修工事である。今、すごく不便なこともあるし、また、北千里小学校の皆さんに気持ちよく来ていただくことも大事なことである。大きな話として、まちづくりの視点から学校を建て替えてほしいという意見がある。コミュニティの中心、地域のスポーツ拠点として、体育館の整備がある。また、特に子どもたちが困っていて、希望があるのが、トイレ・手洗いの改修を早くしてほしいという意見である。また、校舎が迷路のようでわかりにくい、職員室と教室が遠くて不便、教室の内装が古い。使っていない教室が多く、汚いままになっている。教室の冷暖房の問題、教室内の水廻りも汚く、廊下も水はけが悪い。中庭には空の鳥小屋がある。遊具は錆びている箇所がある。プールも修理しなければならないところがあるなどの意見も聞いている。さらに、南門の警備員の配置、柵の高さ、学校の場所がわかりにくいことなどについての意見も聞いている。予算や実施時期などがあると思うが、この場で意見として出したい。また、まちづくりの視点から、この学校をコミュニティの拠点として盛り上げて行くという視点ももっていただきたい。

H 委員 今、ニュータウンの中でも団地の建て替えなどの時期を迎えていることからすると、小学校もその時期を迎えてもおかしくないのではないか。ここで大規模改修をやってしまうと、次の機会を逃してしまうのではないか。そういうことからすれば、この時期に思い切って、市教委ではなく、上部組織へ掛け合ってもらおうことを古江台、青山台小学校についてしてほしい。

I 委員 北千里小学校PTAとしては、青山台、古江台それぞれの小学校に通う可能性のある子どもたちについて、各校についての見学会的なものを行ってから、北千里小学校の要望としたい。また、青山台小学校への通学路に関して、横断歩道や

信号機の設置の要望が意見として出ているので、その検討もお願いしたい。

A 委員 備品関係について、実情はわからないが、例えば、これを機会にピアノなども新しくなればありがたいという意見もあった。

C 委員 たくさんの改修箇所があり、是非とも財政的にお願いをしたい。また、安全の問題があり、このときに見直すべきところがたくさんあると思うので、1年掛けてでも考えて、実施してもらえればと思う。青山台小学校は、職員室から運動場が見えない。安全について何らかの配慮をお願いしたい。建物自体は、陸屋根であり何度修理しても雨漏りするので無駄だと思う。だから、安全面と建物への対処を是非ともお願いしたい。

J 委員 青山台小学校への見学会を是非組んでいただきたい。その中で、子どもたちが夢をもって、青山台、古江台小学校に行けるような学校にして、盛り上げたい。学校が新築そっくりとまではいなくても、若干そっくりぐらいまではやってもらおう覚悟で、北千里小学校の統廃合の問題も考えてもらうことも大事ではないか。また、耐震診断は、校舎全体なのか。

事務局 一次診断で必要のない部分を除き、今年度に二次診断をする。

J 委員 例えば、旧校舎の上に更に建物を積むことが可能だということを含んでイメージしてもよいか。新築はできないけれども、膨らむ可能性はまだある。それぐらいの夢をもって我々は考えてよいという理解をしてよいか。

事務局 耐震診断は現在の建物が耐力をもっているかの診断を行い、地震が来ても倒壊しない形で補強工事を行う内容となっており、上に何階積めるかは、全く別の話だと思う。

J 委員 この協議会の中でいろいろな意見を出してもらって、子どもが「こんなところに行くことができるんだ。」というものにしてもらいたい。そういった子どもの声もあげながら、学校をきれいにしていく、これは青山台小学校からのお願いである。

座長 今話を聞いて、事務局として何かあるか。

事務局 大規模改修については、先例として、千里たけみ小学校の大規模改修時には、全体で約8億円ぐらいの費用を掛けて、屋上防水、外壁塗装、廊下などの改修を行った。吹田市では現在、財政健全化計画を立てており、小学校の改修事業にまわせるお金というのは、なかなか厳しいのではないかと思うが、安全を確保しなければならないということで、平成20年度に耐震補強設計を行い、21年度に耐震補強工事をした後に、大規模改修を、年次的に分けてやっていく必要があると考えている。中身については、要望をいただいた中で取捨選択し、優先順位をつけていかなければならないと思うので理解いただきたい。

座長 現在の吹田市の財政事情については、皆さんもわかっている中でこういう意見が出てくるわけである。やはり、この問題を解決しようと思えば、古江台、青山台小学校をちゃんとしてもらわなければならないということに尽きると思う。新

しい学校を造るぐらいの意欲をもって、教育委員会も対処してもらいたい。一度に言っても無理だと思うので、年次計画を立ててもらい、「こうします。」と言ってもらえれば、皆さんは納得すると思う。各校から出された意向はだいたいわかっているのですが、これらの意向をどうするかを教育委員会として考えておいてもらい、次回からこの問題も更に討議していきたいと思うが、皆さんはそれでよいか。
(一同、異議なし。)

(6) ③児童の通学路の安全確保について

座長 児童の通学路の安全確保ということで、北千里小学校から、青山台小学校と古江台小学校に行く上での安全確保の問題について。

A 委員 青山台1丁目と青山台小学校の間に大きな坂になっている道路があり、その道路の往来が激しいため、信号機の設置をしてほしい。道路を下までおりれば信号機はあるが、ちょうど途中あたりで道路を渡って行く形になるので、信号機の設置の要望が出ている。

I 委員 北千里小学校の児童が、青山台、古江台小学校に行こうということ踏まえた上で、危険であるところをその場で見て、学校に通うまでにどれだけ危険な箇所があるのかももう一度考えた上で、提出したい。

B 委員 青山台小学校としては、最近、危険箇所について、教育委員会にすでに要望を出しているのですが、それを検討してもらえればありがたい。通学路に関しては、北千里小学校の意見を反映していただければよいと思う。

D 委員 古江台小学校でも、危険箇所マップを作っている。それを古江台3丁目も含めて作って行きたい。

C 委員 A 委員が言っている箇所に信号機をつける可能性について、教育委員会は警察と協議をしたのか。まず、道路を下ったところにある信号機との距離の問題がある。また、押ボタン式の信号機になると思うが、どうなっているのか。府警本部の予算が厳しいことはわかっているが、構造的に、あの場所に信号機が設置してもらえる可能性があるかどうかである。

事務局 信号機の設置については、市の交通政策課が受付をしており、吹田警察、府警本部の対応も含めて状況を報告させてもらう。

K 委員 古江台中学校の周りには人通りが少ないと聞いている。不審者情報などはこちらにはあまり届いていないが、大丈夫なのか。古江台3丁目から古江台中学校に通うとなれば、青山台中学校と比べても遠いことが一つと、人通りが非常に少ないように聞いており、非常に不安に思っている保護者が多いことは事実である。その辺のセキュリティの問題は大丈夫かということと、市教委も、通学路の安全面に関する対処方法を考えてもらいたい。

L 委員 古江台中学校では、不審者情報については保護者にメール配信をしている。通学路の問題については、古江台3丁目と4、5丁目は距離的にはあまり変わらないのではないかと考えている。

K 委員 実際には不審者などが最近出たということはないか。

L 委員 今、言われている通学路の古江台3丁目から来る場合の不審者情報は今年についてはない。

H 委員 古江台中学校では、I C タグも採用しているはずである。

L 委員 2年ほど前からGPS機能もついたI C タグの実証実験を行っており、生徒が登下校するときに保護者のメールアドレスにその情報を配信している。本格実施を来月(10月)から予定している。もし生徒が校内で危険なことに合えば、それが非常ベルと同じ役割をするので、そのボタンを押すと、その生徒がどこで呼んでいるかが学校の画面で集中管理できるので、駆けつけることができる。

座長 I C タグの利用状況はどうなっているのか。

L 委員 利用対象は申込みの方のみで、月に250円と多少費用が掛かるので、保護者の中で希望される方のみで実施する。

H 委員 信号機の話であるが、豊中市ではスクールゾーンにある信号機は、歩車分離になっているのをよく見かける。人が歩いているときには車を全部止めている。だから、この地区をモデル地区として先行で検討してもらいたい。

座長 通学路の安全については、本日出されたものの他にもあると思う。次回、更に行っていききたい。

(6) ④統合後の学校名について

座長 統合後の学校名については、この協議会を開催するときには言われていなかったことであり、本日初めて出てきた問題である。本日中に、学校名を決めなければならないことでもないと思うが、先ほど、市教委から千里たけみ小学校の例も出たので議論をお願いしたい。

B 委員 今回初めて学校名の問題をいただき、今まで議論の中であまりなかったように思う。竹見台と南竹見台小学校の統合の際に名前が変わったということであるが、そういう考え方もあるのかなど。「青山台」という名称でよいのではないかという意見もあるし、新しい学校になるのであれば、新しい名前がよいのではないかということか。これをPTAに持ち帰った方がよいのか、この場でだいたい固めてからPTAの意見を聞くのか、整理をしていただければありがたい。

座長 今日は皆さんの考え方がまとまっていないと思うので、いろんな考え方があり、学校名の変更も選択肢の一つというぐらいで受け取ってもらえばよいのではないかと思う。もう少し、必要な問題が煮詰まってこない、ここまで話が進まないと思うが、皆さんはどう思うか。

C 委員 青山台小学校としては、今言われたことでよいと思う。今、B委員が言われたように、それでスムーズに行くならば、また、来ていただけるならばと思うので、とりあえず、この場で提案があったということで、PTAに持ち帰り、一度協議してはどうか。

B 委員 単に持ち帰り、「学校の名前を変えようという意見があるが、どんな名前がよいか。」と聞いてよいのか。何か核となるような名前があるのか。千里たけみ小学校の時は、3つぐらいの名前から決めたと聞いているが、そういう仕切りなしで、いきなり聞くことには不安がある。市議会に間に合わせなければならないとも言っているが、間に合うのかなと思う。

I 委員 北千里小学校PTAの意見としては、やはり新しい学校であるから、新しい学校名ということをして市教委が言っているのであろうと。その土台となっているのが千里たけみ小学校の例であって、青山台、古江台小学校についても、そういう意味で考えてもらえればと市教委から提案されていると考えている。

C 委員 これは、市教委からの提案か、北千里小学校PTAからの提案か。

事務局 市教委からの提案である。

座長 市教委も、何もこれをやるということではなく、いろんな情勢をみて、一つの方策であるということで提案しているのだと思う。従って、今日初めて聞いたということによいか。

H 委員 持ち帰ると言っても、北千里小学校は両方のことを考えるのかなど、少し複雑な部分があると思う。例えば、「これについては、ペアになるようなものを考えましょう。」ということをして、3校の児童を含めて、PTA全部で出してもらおうような方向性だけでも決めておかなければ、持ち帰るにしても何をしてもよいかわからない状態になるのではないか。だから、やり方の案のようなものを、この場、もしくは市教委から提案してもらえれば一番ありがたい。

事務局 千里たけみ小学校の例では、各小学校、中学校の各家庭にアンケートを実施され、学校名を検討された。統廃合に関して、教育的な配慮などから、新しい学校名をつけていこうという経過である。できれば、今回の会議の中でも同じような理解が深まれば、小・中学校の5校で、それぞれ、新しい学校にふさわしい名前を、この事業の一環として考えようという取り組みにもつながれば、地域にこの事業をアナウンスしていくという効果もあることを希望している。

J 委員 名称変更も、今日は第1回の会議だから、我々は突然、不自然な姿かなと思っている。学校は地域の学校なので、地域にも返さなくてはならない問題もあるのではなかと思う。どうしていくかは、時間をもう少しかけながら、この場で方向性を決めて行くのが一番かと思う。統廃合は議会で決まるわけで、我々で決められるものではない。教育委員会は統廃合に向けて提案をするので、その提案をするときに、地域、あるいは学校の意見を聞いておきたいので、この場をもたれていると思っている。勝手に物事が進んでいかないように、ここで議論しているのではないかと思っている。

座長 学校名の問題については、きっと皆さん初めて聞いたということなので、次回にこれを各団体におろすのか、ここで決めるのか、またどうするのかを考えておいてほしい。次回また議論したい。それでよいか。

事務局 それでよい。

(6) ⑤その他

F委員 補足をさせてもらいたい。改修工事のことで、古江台小学校は何もするところがないと思われたらいけないので、そういう意味は全くなく、皆さんが言ってくれたので、私が特に言うことはないということと、本校の補修についても、営繕の補修の方で、教育委員会には要望をたくさん出しているの、要望についてはすでに言っているという意味で、先ほどは何も言っていなかったということを理解してほしい。

(7) 次回の協議会の日程について

事務局 次回の協議会は、平成19年10月13日(土)午後7時30分、会場も同じ北千里小学校・多目的教室で開催したい。

座長 次回は、平成19年10月13日(土)午後7時30分、会場も同じ北千里小学校・多目的教室で異議はないか。(一同、異議なし。)本日、皆さんからいろいろな意見をいただき、これを踏まえて、次回には、教育委員会へ出された質問に対する回答や、今後の進め方を出してもらいたい。本日はこれで終了する。